

H-IIAロケット35号機の打上げに係る地上安全計画の 過去号機との比較概要

平成29年5月

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構

説明者
第一宇宙技術部門 鹿児島宇宙センター 射場安全グループ グループ長
船川 隆

目 次

1. H-IIAロケット35号機の打上げ概要
 1. 1 機体・ミッションの過去号機との比較
 1. 2 打上げの実施体制
 1. 3 地上安全関連組織

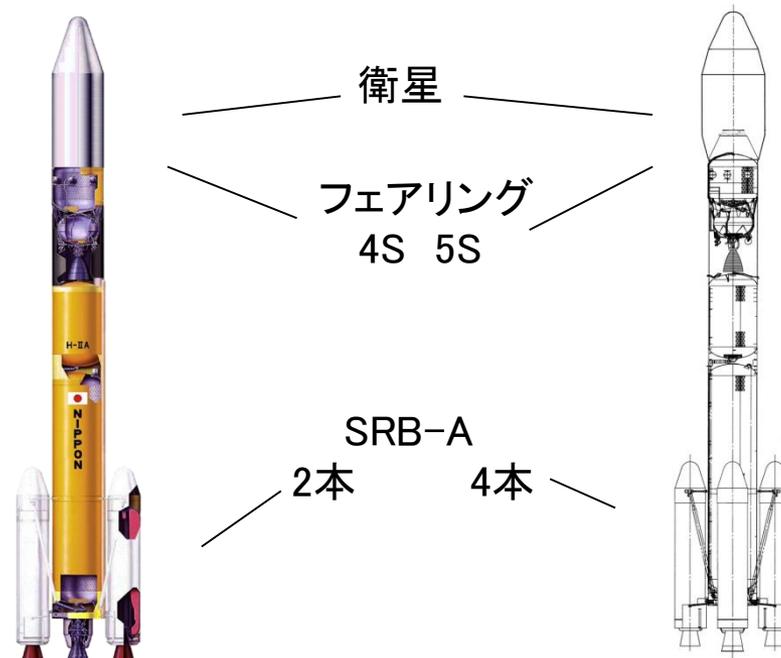
2. 地上安全計画の過去号機との比較概要
 2. 1 ロケット等に搭載の主な保安物の比較
 2. 2 ガス拡散に係わる通報連絡範囲の比較

1. H-IIAロケット35号機の打上げ概要

1.1 機体・ミッションの過去号機との比較

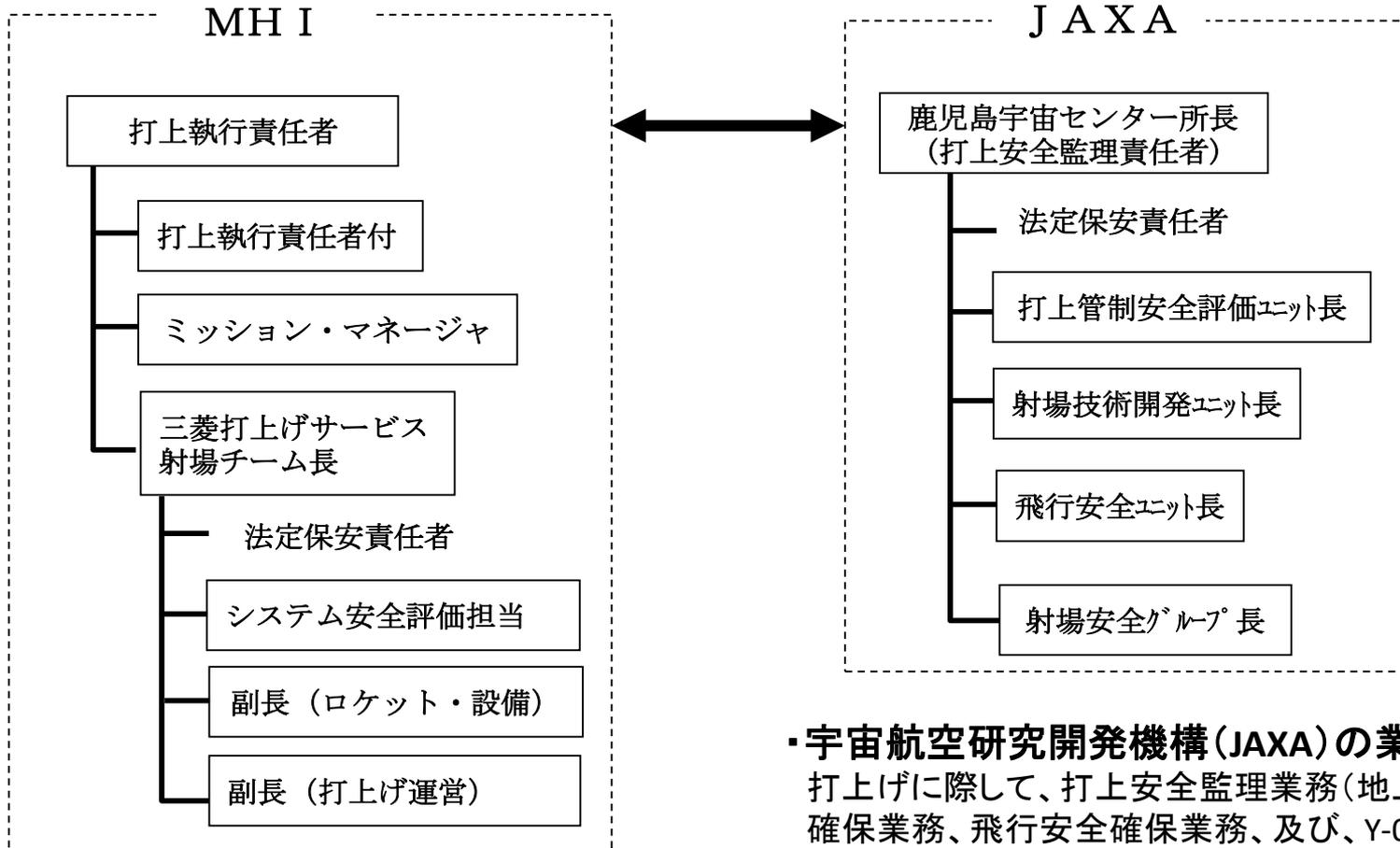
H-IIAロケット35号機の主要諸元と、H-IIAロケット31号機との比較を以下に示す。

項目	H-IIA ロケット31号機	H-IIA ロケット35号機
機体型式	H-IIA 202	H-IIA 204
固体ロケットブースタ(SRB-A)	2本	4本
フェアリング	4S型(4mΦ)	5S型(5mΦ)
投入軌道	静止遷移軌道	静止遷移軌道
ペイロード	静止気象衛星ひまわり9号 (Himawari-9)	「みちびき3号機」 (準天頂衛星システム 静止軌道衛星)
対象期間	平成28年 11月～12月	平成29年 7月～12月



1.2 打上げの実施体制

H-IIAロケット35号機の打上げ時の全体体制を以下に示す。

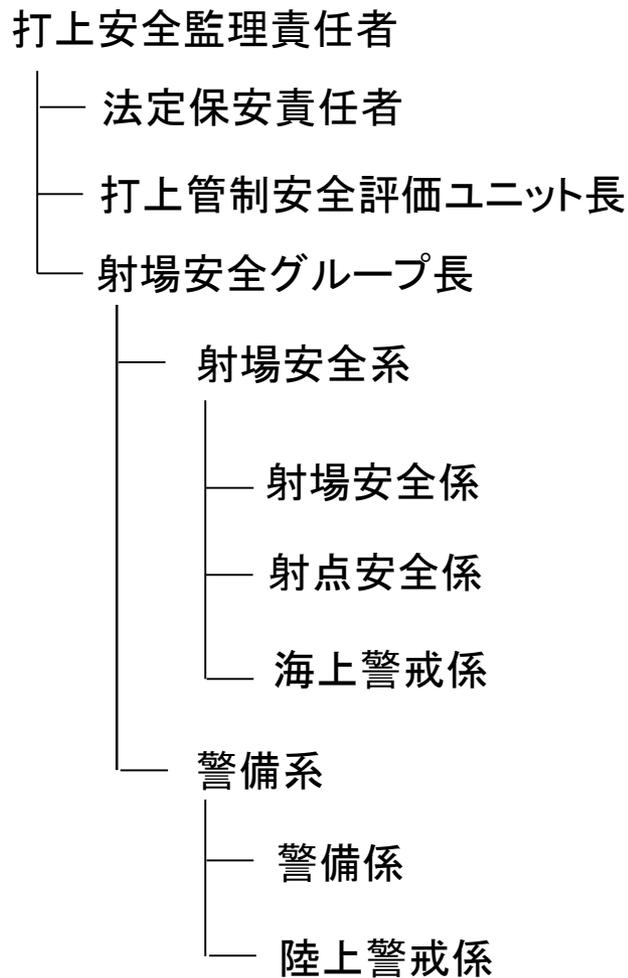


- ・三菱重工業株式会社(MHI)の業務
打上事業者として、ロケット打上げを執行し、衛星を所定の軌道に投入する。

- ・宇宙航空研究開発機構(JAXA)の業務
打上げに際して、打上安全監理業務(地上安全確保業務、飛行安全確保業務、及び、Y-0カウントダウン時の総合指揮業務等)を実施する。最終的に、安全確保の観点から、MHIの打上げ執行可否の判断を行う。

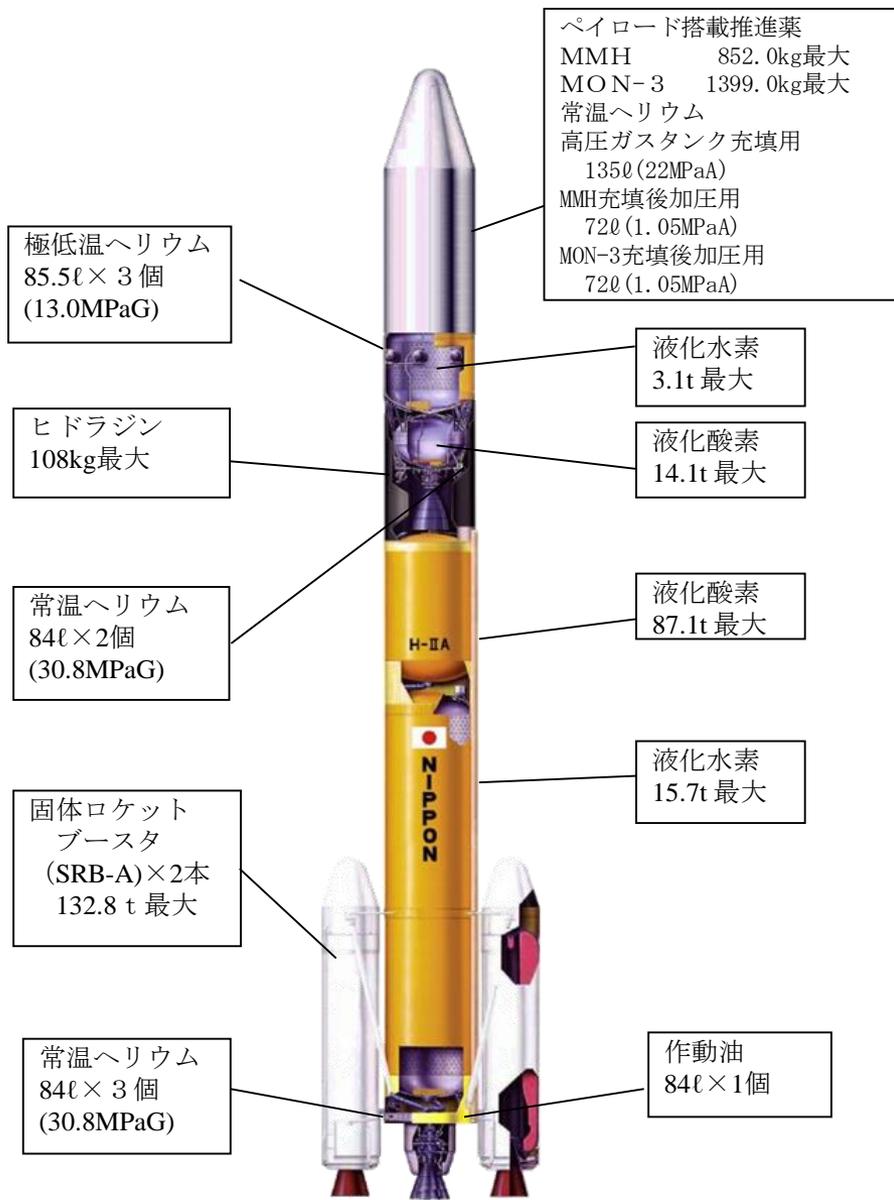
1.3 地上安全関連組織

H-IIAロケット35号機の打上げ時の地上安全関連組織を以下に示す。

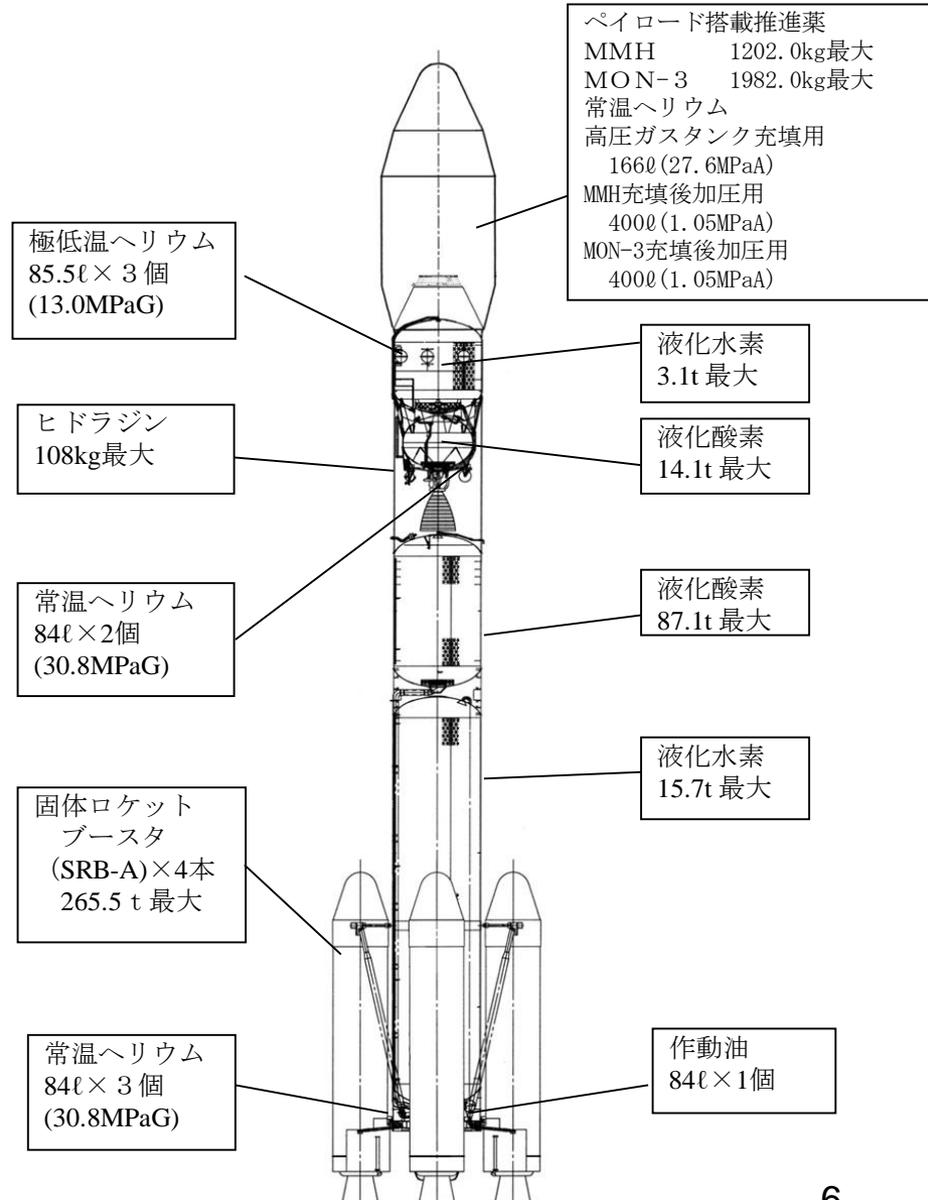


2. 地上安全計画の過去号機との比較概要

2.1 ロケット等に搭載の主な保安物の比較



H-IIAロケット31号機

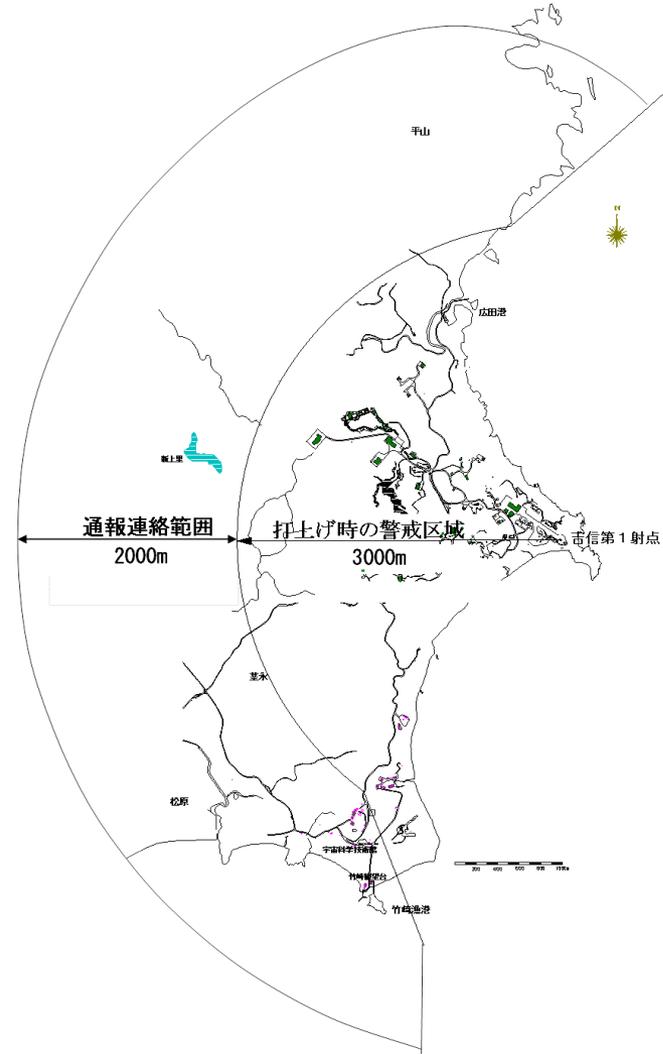


H-IIAロケット35号機

2.2 ガス拡散に係わる通報連絡の比較



H-IIAロケット31号機



H-IIAロケット35号機